

第46号(一九七五年六月)

特集・都市と家族の問題

家族とは何か

——その存在の今日的意義について——

——臨床社会心理の立場からの考察——

婦人の就労化と家族問題

低所得層の家族

家庭裁判所に見る崩壊家庭

老人と家族

行政研究

横濱の家族——世帯構成とそのくらし——

主婦と地域活動——個別事例調査から——

新書紹介

居宅老人の生活と親族網

「わたしの都市」というかんがえ——長田 弘

行政研究

国内諸都市のアーバンデザインへの試み——国吉直行

ルイス・マンフォードの全体像

——略歴にみる試論——

第48号(一九七五年二月)

特集・地方財政危機をめぐって

低成長経済下の地方財政

〈座談会〉地方財政危機打開の方向

地方財政危機と横浜市政

超過負担と機関委任事務

地方版にみる地方財政クロニクル

行政研究

超過負担の考え方と問題点

ニューヨーク市財政危機とアメリカの都市問題

言葉と自治体——私達は信頼されているか——

——松本得三

——砂川忠雄、大山浩朗

——松井重利、稲葉啓三、反町良雄、鳥井盛男、高橋敏美

——行政資料

——モスクワとレーニングラードの道路名称の由来(抄訳)

——読書案内

——地方財政関係の文献

——川名吉エ門

新書紹介

環境破壊と社会的費用——

第49号(一九七六年三月)

特集・区民生活と行政の対応

——緑区の調査事例を中心に——

緑区民生活調査について——緑区民生活調査作業班

緑区民の生活と地域社会

——緑区A調査結果を中心に——緑区民生活調査作業班

住民の要求と行政の対応

——緑区B調査結果を中心に——緑区民生活調査作業班

区・市役所のあり方をめぐって

——その一 区(地域)におけるサービス統合に向けて

——その二 座談会——作業班の討論から

行政権限の分散と住民参加

——行政区のあり方を考える——

行政研究

区民生活の側面

——緑区生活保護受給世帯より——

指定都市の区役所について

——横浜市の現状と関連させて——

——読書案内

——緑区の前身 都筑郡のころ

——新書紹介

——行政と平均的市民——

——川上勝己

1976年6月30日

編集・発行——横浜市企画調整局都市科学研究室

横浜市中区港町1-1

電話——045・671-2011・2029 郵便番号——231

印刷——西岡印刷株式会社

横浜市南区吉野町5-22

●横浜市のデータ

人口——2,648,266人<51.6>

世帯数——804,089<51.6>

面積——421.46km²<51.6>

市街化区域——31,620ha

市街化調整区域——10,687ha

農地——7,371ha<51.1.1>

山林・原野——6,587ha<51.1.1>

宅地——16,865ha<51.1.1>

その他——11,323ha<51.1.1>

都市計画街路延長——58,220km<51.5>

同完成・概成延長——222,929km<51.5>